

<行使内容について>

通常の場合、議案内容に応じて「賛成(FOR)」「反対(AGAINST)」を指図しますが、外国株式議決権行使においては、市場慣行や制度によって異なる指図をすることがあります。

<ABSTAIN>

- ① 「実質的反対」(市場慣行や制度によって、「Against」の代替として指図することがあります)
- ② 「議案取り下げ」(総会直前に議案が取り下げられた場合、本来は指図不要の議案に対する事務手続き上の慣行として指図することがあります)

<Do Not Vote>

- ① 「不行使」(議決権行使に際して売却制限などの運用制限がかかる総会において、不行使とすることがあります)
- ② 「委任状闘争/ProxyContest」(アメリカの Proxy Contest 総会では、会社と株主がそれぞれ議案リストを提示するため、株主はそのうちの一つを選択して行使を行い、選択しない議案リストの議案には Do Not Vote を指図します)

<WITHHOLD>

「実質的反対」(市場慣行や制度によって、「Against」の代替として指図することがあります)

その他、株主の属性を問うアンケート議案への回答として、「FOR」「AGAINST」「ABSTAIN」を指図することがあります。